

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	2,810,000株	2021年3月期	2,810,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	40,221株	2021年3月期	40,221株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	2,769,779株	2021年3月期1Q	2,740,106株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う経済活動の停滞や縮小により、先行きの不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社はダイレクトマーケティング実施企業に対して、マーケティングの各局面において最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、積極的な人材採用を行い、営業力及び提供サービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当社の当第1四半期連結累計期間における売上高は3,934,147千円、営業損失は△31,373千円、経常損失は△32,661千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は△44,148千円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

i) ダイレクトメール事業

ダイレクトメール事業におきましては、企画制作からデザイン、印刷、封入・封緘作業を一括して手がけるワンストップサービスの提供、郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開いたしました。また、EC通販市場の拡大に伴い需要が増加している宅配便等の小口貨物の取扱いの強化に努めました。

この結果、新規顧客の開拓及び既存顧客からの受注が堅調に推移し、売上高は3,238,921千円、セグメント利益は140,996千円となりました。

ii) インターネット事業

インターネット事業におきましては、SEO（注）1. と併せて、コンテンツマーケティング（注）2. に注力し、コンサルティング型マーケティングサービスの提供を強化しました。また、これまで培ったSEOのノウハウとWebサイトのコンテンツ制作ノウハウを活かしたパーティカルメディアサービス（注）3. にも引き続き注力いたしました。

検索エンジンの表示順位判定基準（以下、アルゴリズム）の変更の影響を受け、パーティカルメディアサービスにおけるメディアサイトへの流入が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は404,285千円、セグメント利益は36,961千円となりました。

- (注) 1. SEOとは検索エンジン最適化（Search Engine Optimization）の略称で、検索エンジンのアルゴリズムの解析結果に基づき、検索エンジンが高い評価をするWebサイト構造に最適化することを意味します。
2. コンテンツマーケティングとは、顧客および顧客となり得るユーザーに対して、有益な情報を各種コンテンツによって提供し、広告主が目標としている成果に結びつく行動を促すマーケティング施策です。
3. パーティカルメディアサービスとは、特定の分野に特化した自社Webサイトの運営を通じて、利用者へ有益な情報や各種サービスを提供するサービスです。

iii) アパレル事業

アパレル事業におきましては、4月より子会社化した株式会社ピアトランスポート（以下、ピアトランスポート）の販売体制の整備充実を図るとともに経営体制の強化を進め、ピアトランスポートのサイトを通じた商品の販売の促進に努めました。

この結果、売上高は290,939千円、セグメント利益は12,883千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は5,183,881千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,119,299千円、受取手形及び売掛金1,828,734千円、有形固定資産1,195,490千円などです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は3,070,652千円となりました。主な内訳は、買掛金1,132,214千円、1年以内返済予定の長期借入金320,464千円及び長期借入金1,074,766千円などです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,113,229千円となりました。主な内訳は、資本金342,591千円資本剰余金268,758千円、利益剰余金1,479,363千円などです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,119,299
受取手形及び売掛金	1,828,734
棚卸資産	132,163
その他	152,475
貸倒引当金	△10,599
流動資産合計	3,222,072
固定資産	
有形固定資産	
土地	668,606
その他	526,883
有形固定資産合計	1,195,490
無形固定資産	
のれん	266,201
その他	52,908
無形固定資産合計	319,110
投資その他の資産	
その他	454,925
貸倒引当金	△7,716
投資その他の資産合計	447,208
固定資産合計	1,961,808
資産合計	5,183,881
負債の部	
流動負債	
買掛金	1,132,214
1年内返済予定の長期借入金	320,464
未払法人税等	50,820
賞与引当金	57,473
その他	430,509
流動負債合計	1,991,481
固定負債	
長期借入金	1,074,766
その他	4,404
固定負債合計	1,079,170
負債合計	3,070,652
純資産の部	
株主資本	
資本金	342,591
資本剰余金	268,758
利益剰余金	1,479,363
自己株式	△50,212
株主資本合計	2,040,500
新株予約権	72,729
純資産合計	2,113,229
負債純資産合計	5,183,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,934,147
売上原価	3,229,764
売上総利益	704,382
販売費及び一般管理費	735,756
営業損失(△)	△31,373
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	1
持分法による投資利益	477
助成金収入	426
その他	781
営業外収益合計	1,687
営業外費用	
支払利息	2,418
為替差損	144
その他	412
営業外費用合計	2,975
経常損失(△)	△32,661
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,661
法人税、住民税及び事業税	11,486
四半期純損失(△)	△44,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,148

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失 (△)	△44,148
四半期包括利益	△44,148
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,148
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,238,921	404,285	290,939	3,934,147	—	3,934,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,238,921	404,285	290,939	3,934,147	—	3,934,147
セグメント利益	140,996	36,961	12,883	190,841	△222,215	△31,373

（注）1. セグメント利益の調整額△222,215千円は、子会社株式の取得関連費用△59,941千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△162,273千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ピアトランスポートについて、2021年4月1日付で全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「アパレル事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

第1四半期連結会計期間において、株式会社ピアトランスポートの株式を取得したことにより、「アパレル事業」にてのれんが発生しております。当該のれんの償却額は5,946千円、当第1四半期連結会計期間末におけるのれんの未償却残高は231,897千円であります。なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。